九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

Theoretical Review and Empirical Analysis of the Impact of Leadership Behaviors on Employee Attitude in Chinese SMEs

劉, 宇

https://hdl.handle.net/2324/1441020

出版情報：九州大学, 2013, 博士（経済学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：やむを得ない事由により本文ファイル非公開（3）

学位論文審査の結果の要旨

氏　　名　　劉　宇

論文題目　Theoretical Review and Empirical Analysis of the Impact of Leadership Behaviors on Employee Attitude in Chinese SMEs (中国の中小企業におけるリーダーシップが従業員の態度に与える影響の理論的検討と実証分析)

論文調査委員　主査　遠藤　雄二
副査　久野　国夫
副査　関　　廷媛

本論文は、中国内陸ハイテク開発ゾーンの中小企業(四川省成都市)を対象としたサーベイに基づき、いかなるリーダーシップの型が従業員の態度に有効であるのか、またそれがいかなる組織文化の中で有効であるのかを考察したものである。

本論文は、第一に、リーダーシップに関する欧米の理論、つまり変革型と交換型のリーダーシップ論を丹念に吟味する中から、中国企業への適用可能性は両者よりも第三の家父長型リーダーシップの方が高いことを理論的に導出している。

第二に、この理論的分析を通して従業員の態度（職務満足、転職志向、組織コミットメント、仕事への熱意）に対する各リーダーシップ・タイプの影響力に関する仮説を設定し、中国内陸中小企業のサーベイ・データを回帰分析することにより、家父長型リーダーシップの有効性を明確にしている。

第三に、家父長型リーダーシップの有効性が、どのような組織文化の中でより有効な影響を与えているのかを考察するために、組織文化をモデレーターとした分析を行っている。その結果、家父長制リーダーシップが従業員の職務満足に与える正の影響は、集団文化、発展文化、階層文化の中で有効であることを明らかにしている。

以上の考察から得られた本論文の成果は、第一に、従業員の態度改善に最も有効なリーダーシップ・タイプを導出したこと、第二に、そのリーダーシップ・タイプの有効性をさらに増進する組織文化のタイプを析出したところにある。これらの成果は、中小企業リーダーシップ研究のさらなる深化に資するものと判断できる。

以上の結果から、本論文調査会は、劉宇氏より提出された論文「Theoretical Review and Empirical Analysis of the Impact of Leadership Behaviors on Employee Attitude in Chinese SMEs (中国の中小企業におけるリーダーシップが従業員の態度に与える影響の理論的検討と実証分析)」を博士（経済学）の学位を授与するに値するものと認める。